

あした天気にな〜れ

激動の時代のはじまりに



年明け早々から重大事件
がおきています。

高市首相は突然衆議院解散
総選挙に打って出ました。

内閣支持率の高いうちに勝とうという私利私欲むき出し国民の暮らしなど眼中にない行爲です。内閣支持率

こそ高いものの、一度めくれば内政も外交も行き詰まっています。内政では食料など生活必需品の物価上昇は止まらず、実質賃金は低下の一方で、労働時間規制緩和、社会保障改悪などさらに暮らしを追い詰めようとしています。

外交では「台湾有事発言」で日中関係を悪化させ、打開する展望は全くなく、経済界からも厳しい批判があがっています。また米国トランプ政権の無法な「力の支配」を何一つ批判できずにあります。

「政治と金」では高市首相自身の違法献金をはじめ裏金議員も違法献金に反省も

なくパーティーを開き多額の収入を得ていました。

統一教会と自民党の癒着について韓国の日刊紙「ハングョレ」が統一教会の徳野英治会長（当時）が韓鶴子総裁に報告していたと報じました。その報告では総選挙において自民党の29

0人を支援し、高市氏が自民党総裁になることが天の最大の願い」として強く支援していたことが判ります。この他高市政権は多くの問題と矛盾を抱え国会論戦に耐えられないといきなり解散に踏み切りました。

この選挙では、財界・大企業
の利益優先の政治、アメリカ
力いなり政治を変え平
和をこわす暴走政治を止め
希望の持てる新しい政治へ
前進する選挙となるよう頑
張ろうではありませんか。

1月4日アメリカのトラ
ンプ大統領が南米ベネズエ
ラに対して武力攻撃を命令
しマドゥロ大統領夫妻をワ

共産党議員の挨拶

明けましておめでとうございます。



服部久子

トランプ大統領が南米ペネズエラを武力攻撃し、大統領を拘束しアメリカの裁判にかける事態になりました。日本では高市首相が物価対策を急ぐと言いながら総選挙を選択しました。裏金や旧統一教会問題、維新の会の国保逃れ問題の追及のがれと思えます。物価高で私達の生活が困窮しています、大企業を優遇の政治を変えることが先決です。今年こそ金まみれの政治を変えましょう。



薄井孝彦

せず黙認しています。口を開けば「法の支配と自由、民主主義」という価値観をいいながら、これを容認したことは彼女がいかに口先だけであるかを雄弁に物語っています。内政・外交ともに解決策を持たない政治は許せません。

突然の衆議院解散。

先ず、年度内に来年度予算を成立させることを最優先すべきなのに。自分を優先するやり方は国政を担う人がすべきことではありません。

町農業者の高齢化により美しい町の田園風景が保てるか心配です。皆さんの声をお聞きし、田園風景を守り、住みやすく発展する池田町を目指し、皆さんと共に頑張ります

コラム
有明

新しい年を迎え、ひと月が経とうとしています。近年、年賀状を送ることをやめる「年賀状じまい」をする人

達が急速に広がっているようです。交流サイト（SNS）の普及や郵便料金の値上げ、準備に手間ひまがかかる等々理由は様々ですが、我が家へも「今年で年賀状仕舞いといたします。」のはがきがいく通も届きました▼年賀はがきの発行枚数がこの20年で約6分の1の減とか。毎日新聞が昨年12月に行った調査でも、年賀状への忌避感が広がっている様子がうかがえます。「出していない」が41%と最も多く、「もうやめたい」が26%「枚数を減らしたい」18%と合わせると8割を超え、「これまで通り出し続けたい」は11%と少数派だったそうです▼手紙文化に詳しいある専門家は「年賀状は送りたい人が送るものにかわっています。『書かなきゃ』と感じなくても大丈夫」といっていますが、一年に一回の年賀状によって近況を伝え合うのも励みになります。廃れつつあるとはいえ長い習慣をやめるべきか、八十歳をむかえた私を含め悩む方も多いことでしょうが元気でいる限りもう少し続けたと思います。